

CUC公開講座2024「地域防災学習拠点としての大学」

防災教育・防災学習に関する研究の趨勢と 本学・コンソーシアムでの取り組み

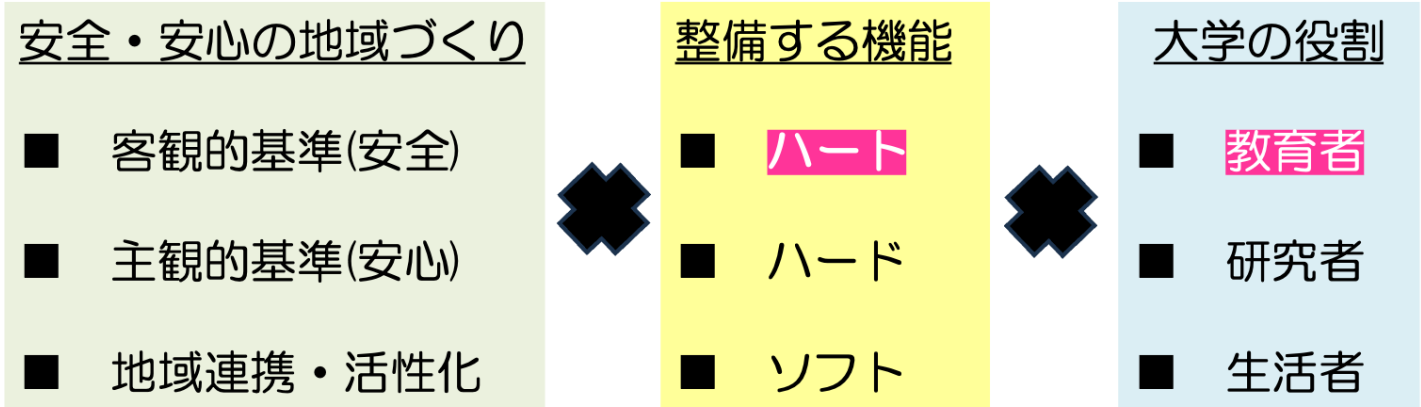
千葉商科大学 商経学部
小野 聡

2

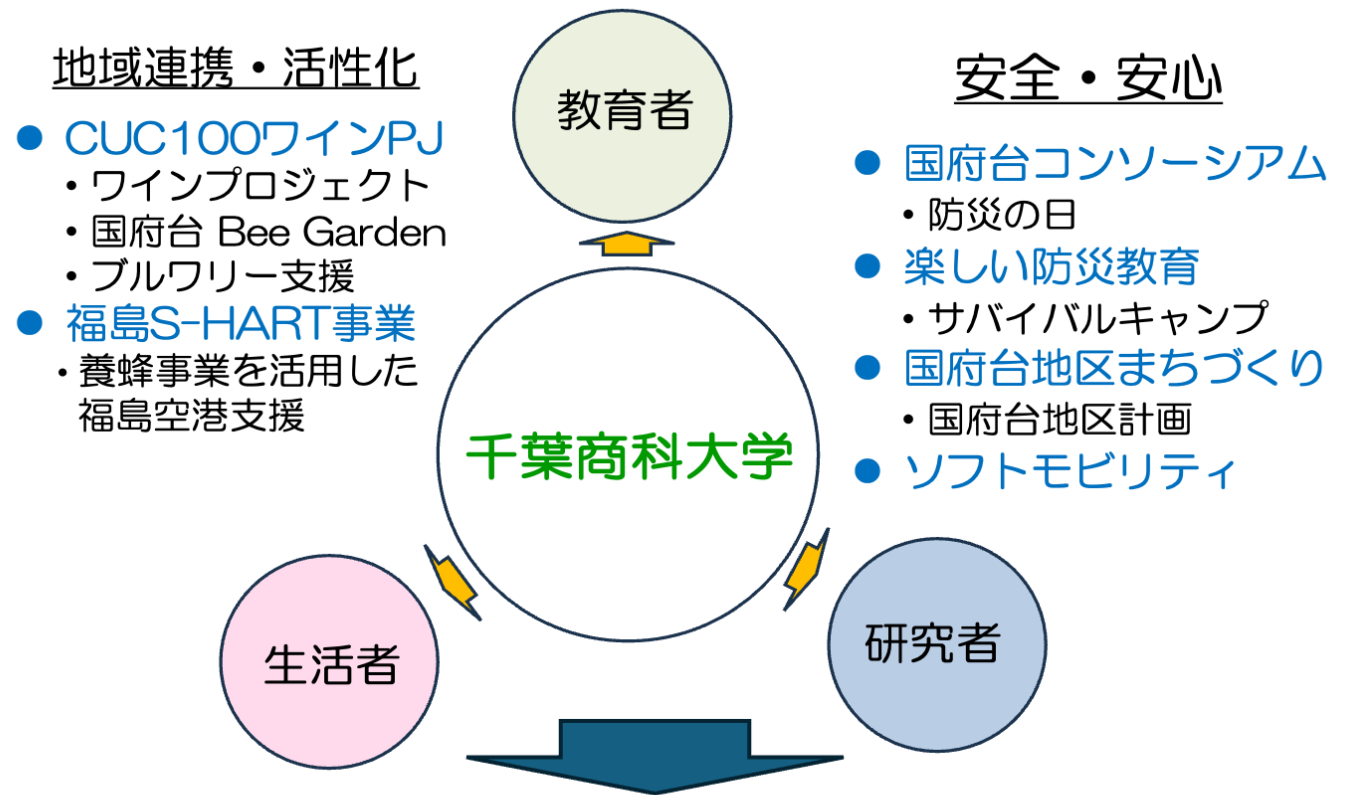
安全・安心な 都市・地域づくり 活動概要



高徳な理念 + SDGS推進



学長プロジェクト3 の活動全体像



安全・安心のまちづくりへの大学の社会的責任
 地域協働の拠点としての大学
 協働のビジネス創造拠点としての大学

突如出現の台風

九州一帯の大暴風雨

中国も危険の恐れ

十七日突如神風北方に現れた猛風なる台風につき十八日午前中央気象台の観測する所によれば台風は十七日午後六時には鹿児島県の東部三三〇センチメートルの海上に達し十八日午前六時には長崎県の海上にあり、北北東に進路をとつて一時四三〇キロ乃至三五キロの速度で進行中である、この現状から推察すると十八日午後三時頃を過ぎし夕刻頃釜山の東をかすめ朝鮮東海岸に達して日本海に達する見込みで、これがため九州はもとより山口、朝鮮、中国にも甚大の被害を起す恐れあり、なほ山の方では十八日朝伊吹山に暴風雨が降り、日本アルプス方面も影響を受けるとすれば大被害であらうと

『広辞苑』 第1版（1955年刊行）

じょうりく【上陸】船を下りて陸に上ること。
しょうりつ【勝率】試合などに勝った割合。

『広辞苑』 第8版（2018年刊行）

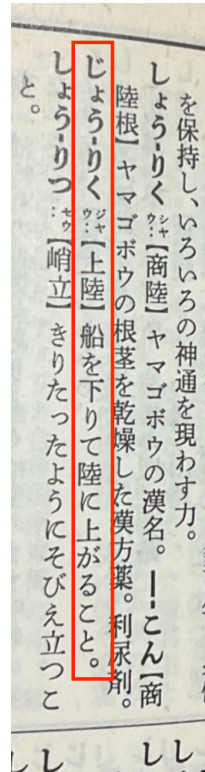
る。商陸根。
じょうりく【上陸】（船を下りて）陸に上ること。
「敵前」「台風は九州に上った」
しょうりつ【峭立】きりたったようにそびえ立つこと。

「台風の上陸」は、
いつから自然な表現として
受容されたのだろうか？

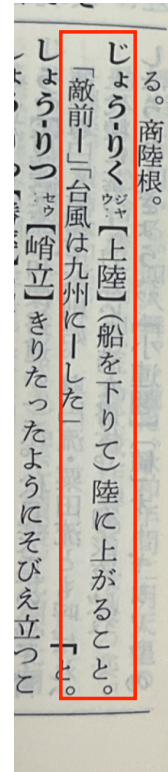
1930年7月19日 東京朝日新聞夕刊2面

「台風の上陸」が 自然な言葉になった のは経済成長期以降

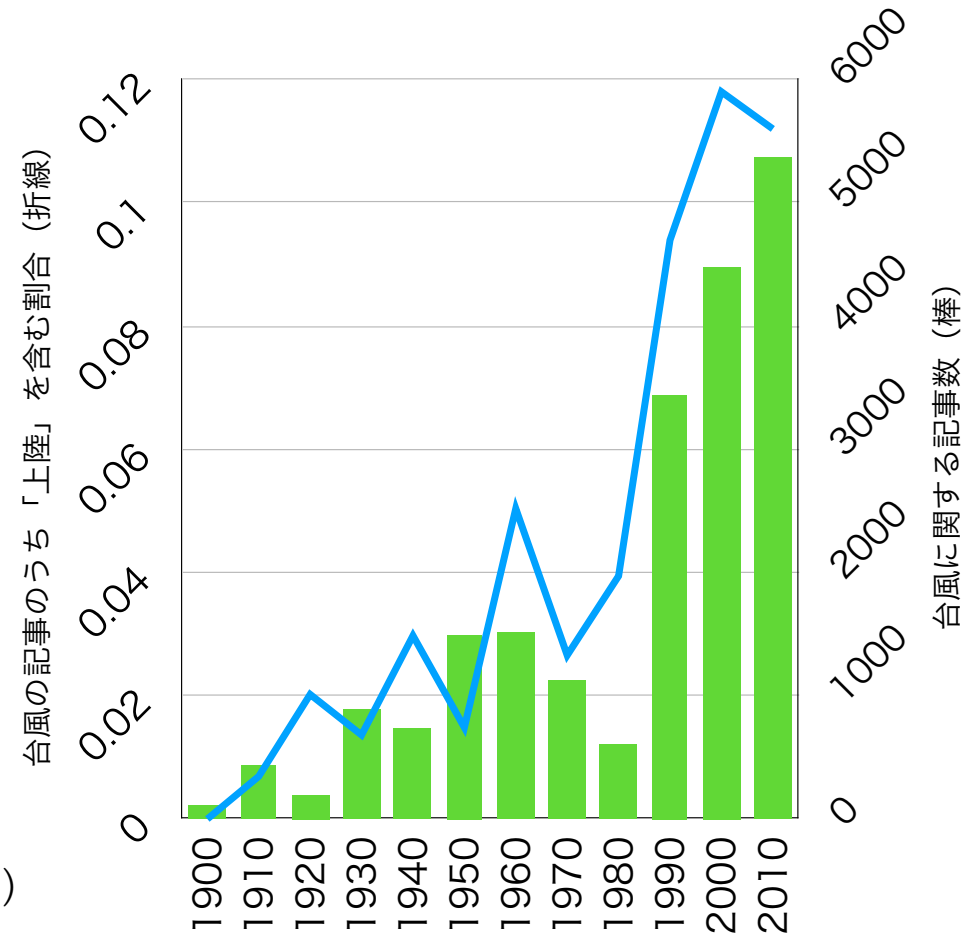
* 朝日新聞クロスサーチでの検索による集計結果に基づく



第2版補訂版
(1976年刊行)



第3版
(1983年刊行)



朝日新聞における「台風の上陸」に関する記事*

60-80年代に何があったのだろうか？

1924年8月21日

國民新聞で天気図の掲載開始

1939年3月

東京放送局のラジオで天気予報が放送

戦後

米軍機による航空観測の導入

上陸前に上陸の科学的予測が可能に

1977年9月8日

静止気象衛星ひまわりが試験観測を行い、

台風9号の画像を気象台に送信

「予測」により、台風が列島に進
入する姿が見えるようになった

1959年9月26日 朝日新聞朝刊11面

??

台風15号

台風十五号の暴風は、本州の南岸に上陸し、九州半島の東方に上陸する。この地方に上陸する場合は、まずまず本州に近づき九州半島の東方、近畿、東海、関東の各地方は、もうからず、青島の強い影響を受ける。暴風型で非常に猛烈なため、日本全土に上陸する。この地方に入るかも知れない。西日本は、東日本にも暴風、大雨の直接の影響が出て来る。

配定を、二十五日夜までに九州、四国の一部に暴風降臨。東海、関東、東海、東北地方に上陸する。この地方に上陸する場合は、まずまず本州に近づき九州半島の東方、近畿、東海、関東の各地方は、もうからず、青島の強い影響を受ける。暴風型で非常に猛烈なため、日本全土に上陸する。この地方に入るかも知れない。西日本は、東日本にも暴風、大雨の直接の影響が出て来る。

東京に大雨注意報

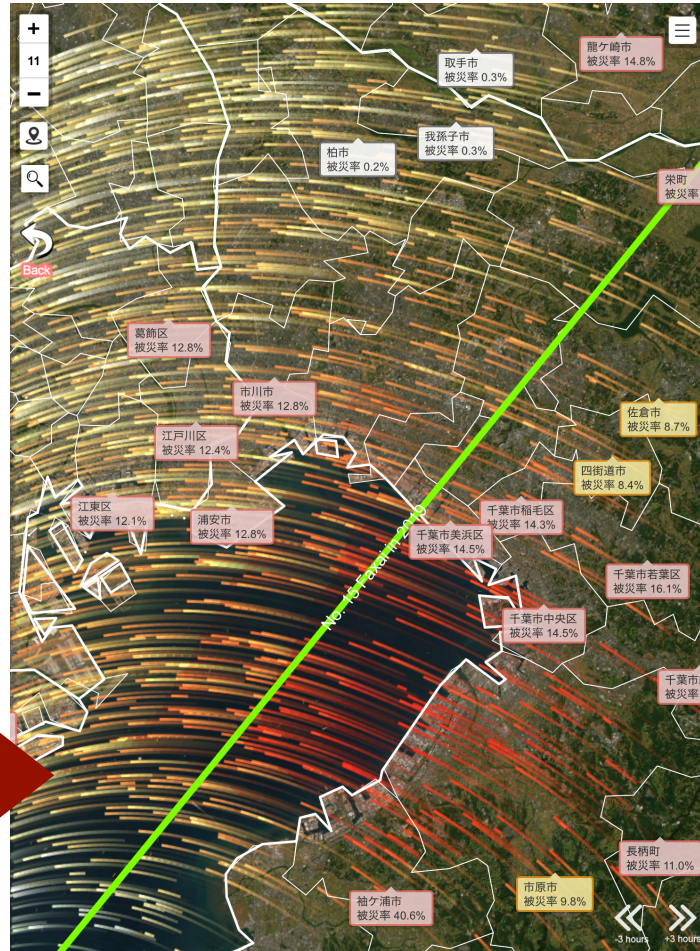
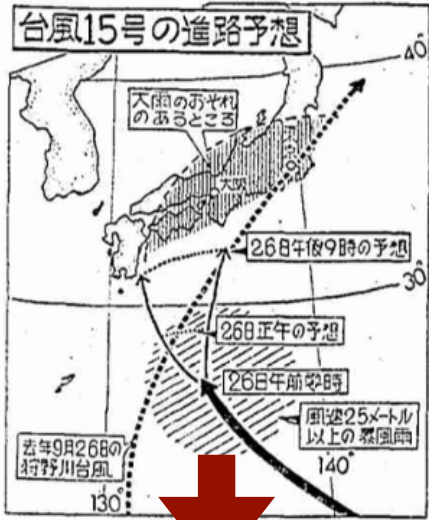
気象庁は二十五日午後十五時、東京地方に大雨注意報を出した。それによると、東京地方は二十五日夜から二十七日にかけて、とくに急激な雨が降り、総雨量も百ミリ以上になる恐れがある。

その他の各地の雨量は次の通り。(単位ミリ)
京都三二、岡山一九三、岡山八八、名古屋六三、岐阜六二、長野(飯山)九八、東京三五、三宅島六三、宮崎(千原)一三二、大島二〇、白河三四



ようするに北緯三〇度の線を通る。各官報の出ている地方は次の通り。
▽強風注意報 九州地方の福岡、鹿児島、種子島、名瀬、四国地方の高松。
▽大雨注意報 東海地方の静岡、名古屋、岐阜、津、関東地方の東京、

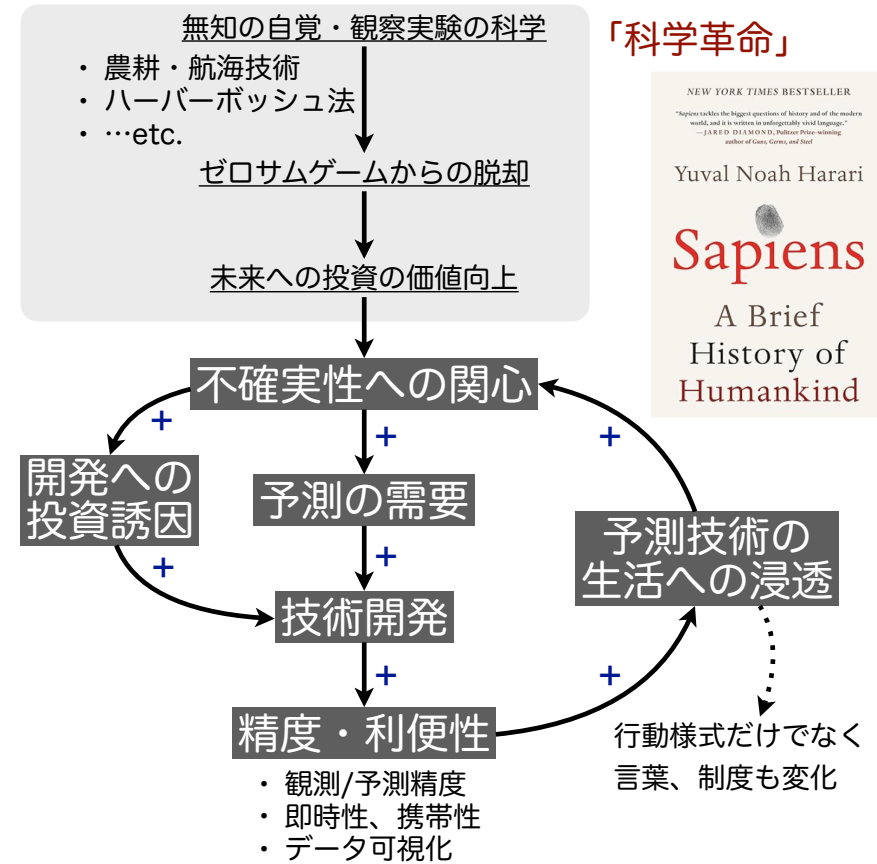
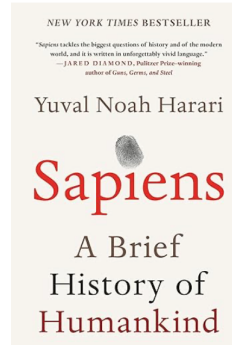
本土南岸、早くも影響
全国的に豪雨警戒体制



リアルタイム被害予測アプリCMAP
における2019年台風15号の記録

2024年8月30日 朝日新聞朝刊1面

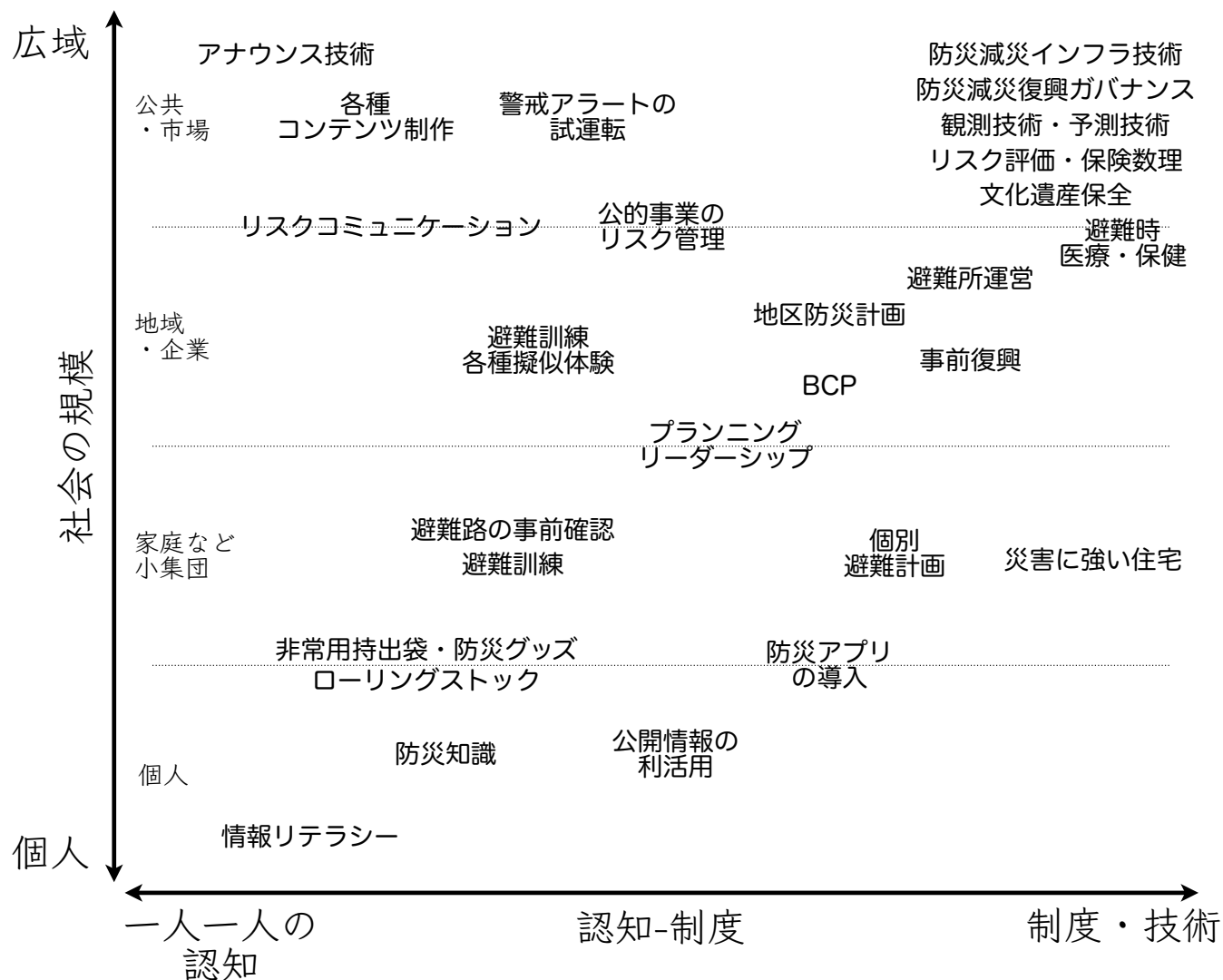
Y.N.ハラリのいう、
「科学革命」



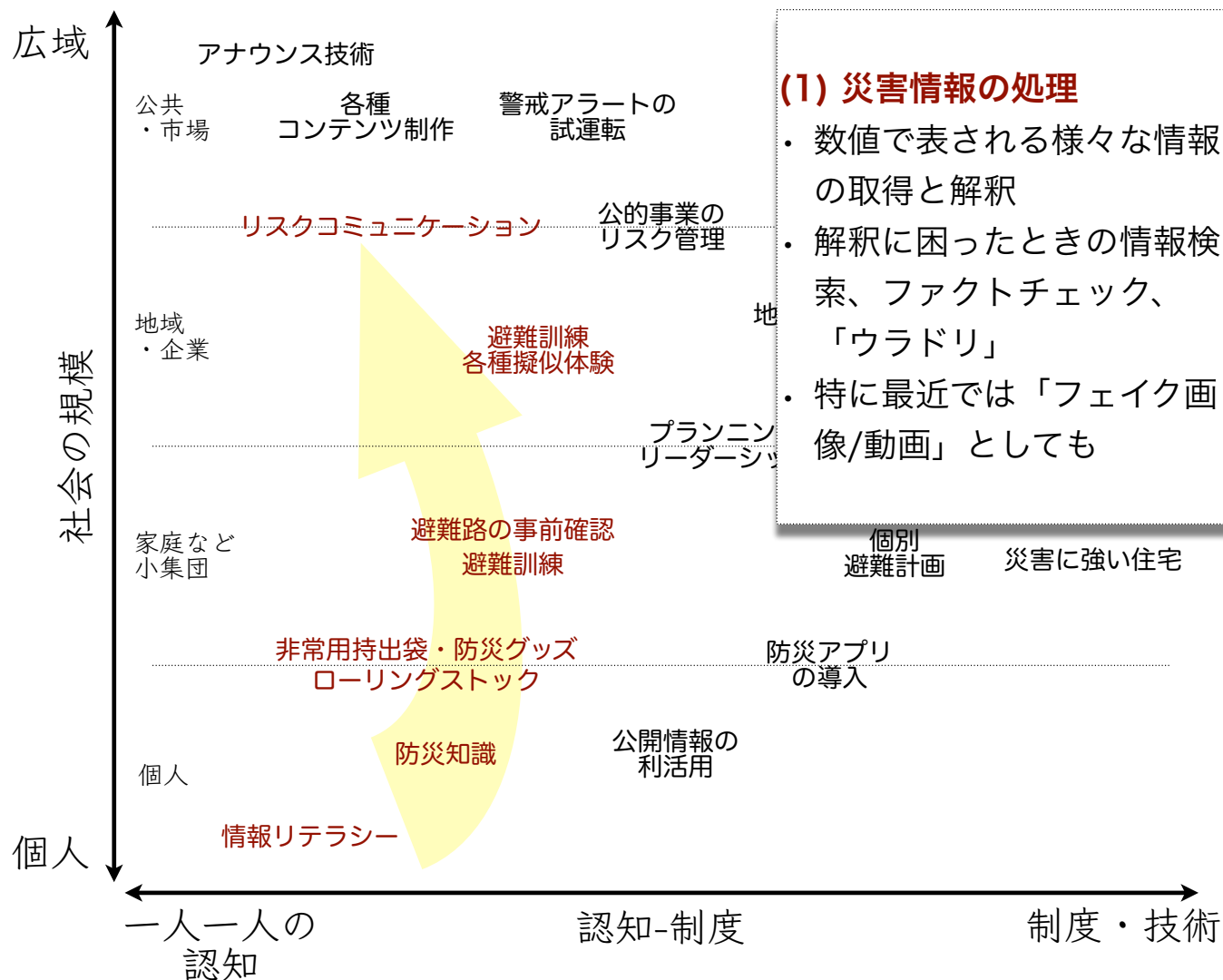
様々な予測情報を踏まえた、
地域・企業・大学連携の
防災学習システムが必要ではないか

Harari, Y. N. (2011) Sapiens, Penguin Random House (日本語訳版『サピエンス全史』)

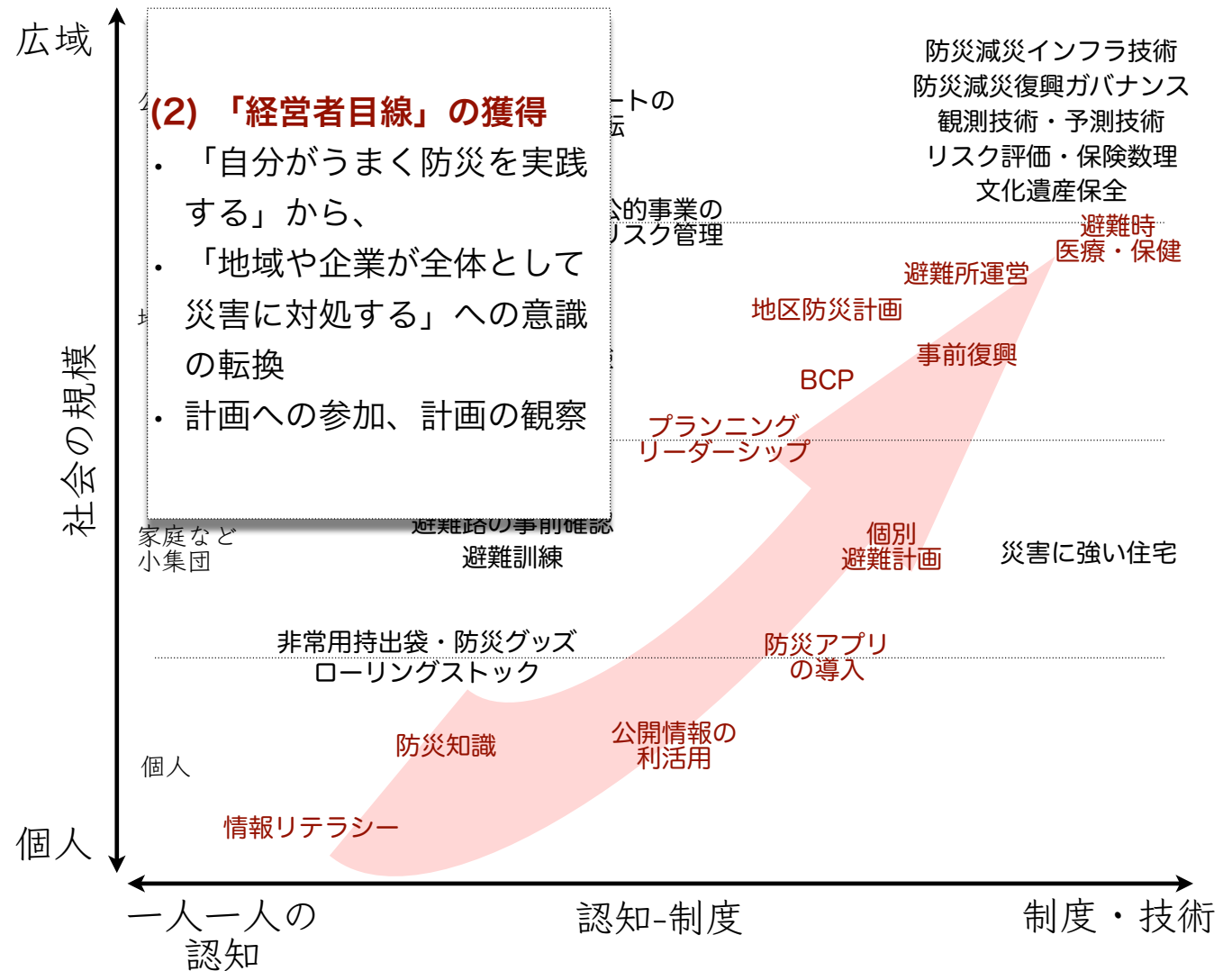
「予測社会」を生きる 社会人のための 防災学習とは??



「予測社会」を生きる 社会人のための 防災学習とは??



「予測社会」を生きる 社会人のための 防災学習とは??



X

防災学習の実践 (商経学部小野ゼミ)

大学発行学生用防災マニュアルの 比較研究

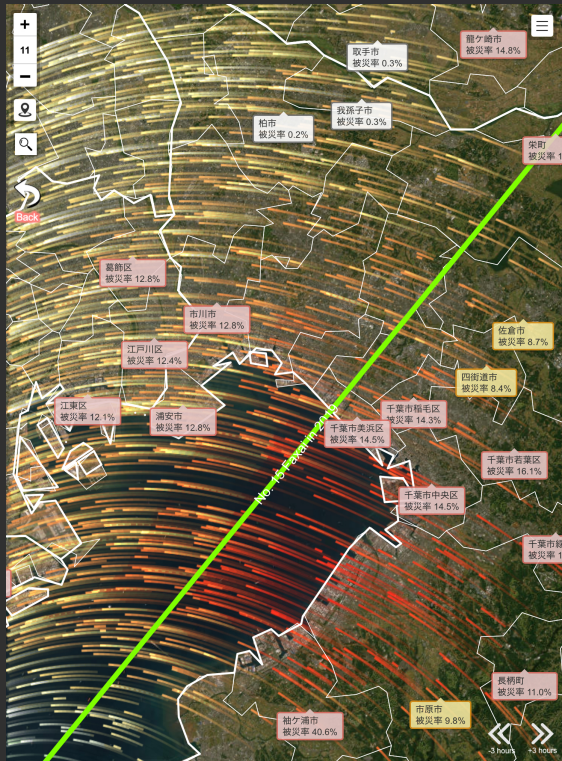
個人情報が含まれるため、
配布資料ではマスクします

大学が学生向けに配布している「学生用防災マニュアル」の内容を比較するため、千葉県内の大学に電話で聞き取り調査。県内大学の傾向を分析。

高知県黒潮町における 高齢者避難支援に関する研究

個人情報が含まれるため、
配布資料ではマスクします

最大40m超の津波が想定されている高知県黒潮町における、避難計画や平時からの防災の取り組みについて文献とインタビューで調査。



- 予測技術・計算処理技術が高度になる中で、
- 予測情報は「視覚的には明瞭」「数値的には難解」になりつつある
 - 例えば、「被災率」とは具体的に何を表していて何をもとに算出したのか、など
- 人々が予測情報と正しく向き合い、行動を選択し計画を立てるためにどうすべきか？
- 公開講座では内田発表に関連

擬似体験と リフレクションの 学びのプロセス

- ・ゲーミング/ゲーミフィケーション
 - ・物事の主要な構成要素を抽出し、ゲーム化して訓練に取り入れる
 - ・古くは軍隊の頭上訓練
 - ・避難所運営ゲーム、クロスロード etc.
- ・デブリーフィング (debriefing)
 - ・ゲーム中での体験を、実世界での行動・計画につなげる作業
- ・公開講座では、前田発表と西尾発表に関連